

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第19号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

# 東風季報

発行 東北風景写真家協会  
〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-8-1  
勾当台ビル1階 エーゼット・フォト内  
Tel 022-722-3755, Fax 022-722-3766  
編集 秋葉・進藤

## 東北風景写真家協会 第6回定期総会報告

1月29日(日)第6回定期総会を仙台市・戦災復興記念館4階研修室にて開催しました。総会の前には角館から小松ひとみプロをお招きし、スライド&トークセミナーを開催。ほぼ満席の盛況で大いに勉強になりました。(別欄に要約を掲載)総会の方は提出された議事・議案は全て拍手を持って承認され無事終了出来ました。当日総会に参加出来なかった会員には総会資料を郵送させて頂きました。

総会は午後4時15分より藤枝幹事の司会で開会を宣言。最初に竹内会長より昨年の東日本大震災による被災お見舞いが述べられ、当協会も協賛し、13年間開催してきた太平洋写真学校開催地の北上町も被災して職員半数が失われ、被災直後からボランティア活動を開始、避難所等に美しい風景写真パネルを飾り、夜はスライド上映で被災者の精神的ケアを進めて、「風景写真の偉大な力」に改めて感激。会員の皆様も写真に係れる者として、作品とは別に残された美しい風景を記録し後世に残して下さい」と挨拶頂いた。

引き続き定数を確認(出席者50名、委任状23名、在籍会員88名)し、総会の成立を報告。議長は希望者おらず、事務局一任で丸山副会長を選出。議長挨拶後議事に入った。

(1)平成23年度事業報告は進藤幹事より、一般事項、撮影会、会報発行状況、役員会・幹事会開催、会員移動状況報告を説明。

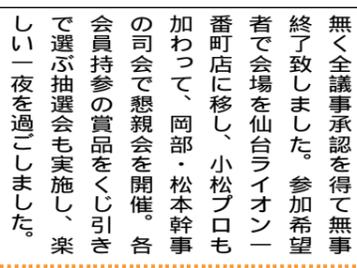
(2)23年度収支報告は渡邊会計幹事が説明。(3)会計監査報告は佐々木康照監事より帳簿、領収書、預金通帳を監査し正確に処理されていた旨報告された。

(4)24年度事業計画(案)は1.撮影会、2.勉強会、3.セミナー及び撮影実習、4.展示発表会、5.組織拡大、6.季刊紙発行について進藤幹事が説明。会員より組織拡大には独自のコンテンツ実地が必要ではとの質問があり、コンテンツは事務局窓口問題で対応が難しい現状を話し、他県での写真展開に今後努力する旨説明、了承を得ました。

(5)24年度収支予算(案)は渡邊会計幹事が説明。(4)(5)共一括で承認を得ました。

(6)役員交代は幹事2名の交代があり、その他の役員・幹事・監事は引き続き留任。幹事の一部担当業務変更を報告。

(7)その他の議事は特に無く全議事承認を得て無事終了致しました。参加希望者で会場を仙台ライオン一番町店に移し、小松プロも加わって、岡部・松本幹事の司会で懇親会を開催。各会員持参の賞品をくじ引きで選ぶ抽選会も実施し、楽しい一夜を過ごしました。



## 小松ひとみ スライド&トークセミナー 「自然からの贈り物」

写真誌「風景写真」や「河北写真展」の審査員としてお馴染みの、小松プロをお迎えしセミナーを開催しました。エピソードを交えながらの1時間半のセミナーで、心に残った要点を記します。

写真誌「風景写真」や「河北写真展」の審査員としてお馴染みの、小松プロをお迎えしセミナーを開催しました。エピソードを交えながらの1時間半のセミナーで、心に残った要点を記します。

「ひとみの桜」とも呼ばれる桜の道、主軸として見られるように体が覚えさせてくれる。日頃から自然の変化、生活との係り、人の心に想いを馳せていれば、それなりに構図も見えてくる。自分が被写体に接するとき、感じたことをメモしておく。タイトルにも結び付けていくだろう。歳時記、二十四節季、七十二候など、微妙な季節の移ろい

の感覚を大切にしたい。さくら・桜

全国各地の見事な桜の写真をその土地の特徴、空模様はもとより、守ってきた人々との対話までもが聞こえてくるような作品群は、「ひとみの桜」とも呼ばれる桜の道、主軸として見られるように体が覚えさせてくれる。日頃から自然の変化、生活との係り、人の心に想いを馳せていれば、それなりに構図も見えてくる。自分が被写体に接するとき、感じたことをメモしておく。タイトルにも結び付けていくだろう。歳時記、二十四節季、七十二候など、微妙な季節の移ろい

桜と新緑が一緒に見えるのはみちのくの宝物。他の

## 東北風景写真家協会主催 絶景！永遠の美・富士山撮影会報告

今年2月1、2、3日の期間でダイヤモンド富士と紅富士を撮影すべく、講師の竹内会長、丸山副会長を含め29名で、お馴染みの勝本運転手と佐々木ガイドのさくら観光を使用して開催しました。今回から再び近畿日本ツーリストが旅行代理店となり、担当の鈴木氏が添乗しました。仙台よりダイヤモンド富士を撮影すべく山中湖に直行。カメラを構えましたが、残念ながら雲に覆われ、ダイヤモンド

は写せませんでした。宿では近ツリりの鈴木氏より乾杯のビール差し入れがあり、楽しい一夜を過ごしました。翌早朝は山中湖にて紅富士を撮影。雲が少なく時間は短かったですが目的達成。朝食後は忍野村にて撮影。富士山は雲に隠れて姿が見えず。緑の休暇村で昼食と撮影。次河口湖の大石公園にて撮影。朝霧高原でタイム、その間に撮影。田貫湖到着後夕焼け富士を撮影。夜はペランダから星

の撮影を行ったが半月の明けがりが強過ぎ、白飛びした人が多かった。翌早朝は日の出を撮影。湖面も凍っていて楽しめた。富士山撮影は初めての参加者も数名いたので朝食後は本栖湖に立ち寄り、岡田紅陽で有名な千円札富士山を撮影。その後、氷の彫刻がある野鳥の森では今迄にない多くの氷彫刻を撮影。今年は富士山に雪が少なく、山麓の荒々しい景色を撮影できた。

樹木にも気を付けて、自分なりの風景を求めよう。自分が見る気になれば、身近に色々あることが分かってくる。白神のブナの森は年によって雪の具合、芽吹きの様子も違う。ブナの峰走りというように、新緑は里から山へ、紅葉は山から里へ進んでくる。森はそれぞれ違った表情を持っている。植物の種類や水との関わり等に疑問を持つと、新しい目が開けてくる。身近な風景、地元だからこそ見えてくるものもある。広めの景色、動きのある展開、横位置、縦位置など、自分で探して色々写してデータを取ろう。何よりも素直な心で、体で感じながら被写体と向き合いたい。

撮影への備え  
白神のイメージを求めて6日間粘って、白い雲が懸った山並みを写した。樹水の森吉山では長時間粘り、遭難しかかった。また厳冬の八幡平で凍傷にやられたこともある。それほど苦闘した。

既に案内済みですが6月1日(金)〜6日(水)の期間に協会展覧を行います。場考希望の会員は20名以上お申し込みください。2日間の日程を組み戦災復興記念館にて行う予定であります。各自の予定については改めて希望日時をお聞きします。尚、仙台だけでなく他県でも開催したいと考えておりますので、その節はご協力をお願い致します。

新役員紹介  
宮城県仙台市 鹿野 和司  
宮城県仙台市 和田 雅章  
北村 幸一「星に願いを」  
新規入会会員紹介  
宮城県仙台市  
渡邊 正博「黄色の水辺」  
第51回富士フィルムフォトコンテスト  
銀賞 北村 幸一「星に願いを」  
新入会会員紹介  
宮城県仙台市 鹿野 和司  
宮城県仙台市 和田 雅章

写真展担当 岡部晃次  
撮影担当 古山恵子  
会計監事 古山善一郎

第3回写真展美しい日本開催  
協会展覧を行います。場考希望の会員は20名以上お申し込みください。2日間の日程を組み戦災復興記念館にて行う予定であります。各自の予定については改めて希望日時をお聞きします。尚、仙台だけでなく他県でも開催したいと考えておりますので、その節はご協力をお願い致します。

お知らせ  
写真コンテスト  
上位入選者  
「風景写真」  
2011美しい風景写真  
100人展(3月15日)  
27日2回に分け富士フィルム仙台にて展示されます

お知らせ  
写真コンテスト  
上位入選者  
「風景写真」  
2011美しい風景写真  
100人展(3月15日)  
27日2回に分け富士フィルム仙台にて展示されます

# 青葉山植物園

都市の中の原始林と呼んでは言い過ぎだろうか？ ほとんど人の手が加わっていない自然植生の森が、東北大学植物園であり、天然記念物「青葉山」に指定されている。身近にある原始の森に浸ってみよう。

三月二十日開園のころ、マンサク、キブシ、水芭蕉、リュウキソクなど早咲きの春の花が見られる。入口近くのロックガーデン、湿生園エリアは人工的に植栽されたもので、特に春にはイカリソウ、クリンソウ、シヤクナゲ、ツツジなど野の花、山の花が咲き誇り見ごたえがある。

ロックガーデン入口のシダレザクラの大木はモミの森をバックに一段と映え、もし雨模様ならなお風情あるものになる。

多くの遊歩道があるが急坂が多いのでスニーカーなどを履いて行く。沢道沿いにはスミミのも面白い。新緑が美しいところは紅葉も美しいとよく言われるが、見があるであろう。

入園料 二二〇円、年間パスポート(千円)あり  
月曜休園12月〜3月中旬閉園 (秋葉健一)

ここも例外ではない。急斜面をバックにしたハウチワカエデの紅葉もあざやかである。西側の最上古街道沿いには、旧跡・遺構が点在し歴史の重みを感じさせる。

東北大学の川内キャンパスから青葉山キャンパスにまたがる広大な自然植物園であり、折々に訪ねて散策すれば新たな発見があるであろう。



## 写真美術館めぐり 山中湖写真ギャラリー& ガーデンカフェテラス

山中湖畔の丘の森の中に写真ギャラリーは静かに佇んでいた。

写真家の富塚晴夫さんと夫人の写真家である富塚裕子さんが運営するギャラリーは、ホールに所狭しと飾られた富士山の写真で埋まっていた。地元の写真家であれば撮れない決定的瞬間を切り取った、素晴らしい貴重な作品に圧倒され、心が洗われる思いである。

アットホームで親しみのある雰囲気各地から訪れるファンも多く、私が訪問したおりも、東京から訪れた夫婦がコーヒを飲みながら歓談していた。

富塚さんは長年アメリカのハリウッドでプロ写真家として人物撮り、四季おりおりの富士山の姿は一日中みても飽きない大きな魅力がある。

富塚さんは長年アメリカのハリウッドでプロ写真家として人物撮り、四季おりおりの富士山の姿は一日中みても飽きない大きな魅力がある。



〒401-0502  
山梨県南都留郡山中湖村平野五〇八三八九  
TEL0555-62-1701

開館9時30分〜17時、入場料五百円  
水曜休館  
http://www.4.ocn.ne.jp/photo-ga  
(竹内正)

## 写真・4...こんな話 あんな話 私感・撮影手段検証

影、広告写真を手がけて、マイケルジャクソン、カークダグラス他多数のポートレイトを撮影され、壁面にはこれ等多数の作品も飾られている。

アメリカから帰国後富士山に近く、仕事で東京へも出やすい山中湖畔に現在のギャラリーを開設、居をかまえたとのことです。

あなたは「フィルム派？ デジタル派？ それとも両刀使い？」

昨今の私も両刀使いなのだが、撮影手段を検証してみると、あまりの違いに困惑しています。また、撮影までの手順を考えると、

フィルムカメラは、電池を確認、フィルムを入れる、ファインダーを見て構図を決める、シャッターを押す。

デジタルカメラは、電池を確認、メディアを入れる、画素数、画質を確認、ファイル形式確認、カラーモード設定、ISO確認、ファインダーを見て構図を決める、シャッターを押す、画像を確認する。不満なときは、設定を変えて再撮影。てな具合で、露出設定は同じと考えても、悠に何ステップも手間がかかるのである。そんなこんなしているうちに、被写体は時間とともに変化し、シャッターチャンスは過去のものとなるのである。だから、デジタルカメラは連写でパンパン撮らばいいんだよ。って言うお方もいるけれど、連続写真の「コマ」を作品に切り切っても、それって本当に

あなたに精魂こめて押し出したシャッターなの？ カメラが撮った写真じゃあないの？ って思うのは私だけ？

こんなに面倒臭い？ デジタルカメラ撮影なのに、今やフィルムカメラは遠い記憶のものとなり、今やフィルムカメラは猫も杓子も百花繚乱の様相を呈しています。デジタルカメラのメリットは、やはり「撮っただけ」で済むこと、すぐ見られること、写したものが確認できる安心感、撮影するときの気持ちの入力方を希薄にしているのではないのでしょうか。

### きつかけ

大震災から一年たった。ライフラインは止まり、街の店も閉まつたまま。半月ほどして近くの書店は開いたが、新たな本の入荷はない。在庫の本がほとんど売れて？ 本棚もがらがらになった。そこにフォトマスター検定のガイドブックが横たわっているのが目にとまり買ってみたい。

### フォトマスター？

一通り落ち着いた頃、本を開く。カメラ

### の教養が試される。受けてみるか

毎年十一月に全国各地で試験が行われ、去年で九回目になる。共通問題が三分の二と選

## TRY フォトマスター

### 秋葉健一



の三級のレベルから、一般的〜中程度の二級、上級レベルの準一級、高度な知識・技術の一級と区分される。写真に関する広い範囲

の三級のレベルから、一般的〜中程度の二級、上級レベルの準一級、高度な知識・技術の一級と区分される。写真に関する広い範囲

### で新しい知識が増えていること、レタツチは何と言つても実践の多さが必須である。さて、フィルムカメラ分野は昔からの知識・技術ががすかに生き延びて

な光、薬品のおい、印が一人迷い込んだ感じ画紙に浮かび上がる画像、水洗いなど、体が覚えている感覚がタイムスリップして蘇ってくる。そうだ昭和の遺物といわれようと、フィルム分野を選ぼう。半ば野次馬根性で応募。

### 試験

試験は十一月二十日、五橋のショーケースで行われた。数十名の受験者のうち女性の受験者を感じつつ見つけ方もチラホラ、一見すると大多数が二十〜三十代、七十越した老人

の三級のレベルから、一般的〜中程度の二級、上級レベルの準一級、高度な知識・技術の一級と区分される。写真に関する広い範囲

前号お知らせ欄にて案内しました戦災復興記念館開館30周年記念写真展では皆様のご協力を頂戴し、有難うございました。お陰様で竹内会長を含め24名の会員に半切・全紙を合わせ41点の作品提供を頂きました。1月30〜31日は4階第2会議室で2月1日〜28日返は1階ロビーのパネルに展示。会館職員に依ると大変好評で機会を作り又展示をお願いしたいとのこと。その節は又ご協力願います。

だから私はデジタルカメラを使う時も、フィルムカメラを使う気持ちで被写体に対峙したいと思ふ昨今です。デジタルカメラの撮影手順をなるべく簡素化して、シャッターチャンスに集中する！ だから、これからは、デジタルカメラの便利さを十分理解したうえで気迫をこめてシャッターを押しましょう。カメラにフィルムが入っている気持ちで。



そんな中で当協会では、「震災を乗り越えて進もう」との決意のもとに、六月の第16号には会長メッセージを掲げ、できるところで活動することに努めてきました。

「美しい日本」を写し撮ることをめざしてきた私たちも、写真の持つ力の大きさを、その後の被災地の報道などでも知らされました。厳しいなかでも、震災前に予定した企画も順調に実行でき、この季報も定期に発行できたことを嬉しく思います。

**お知らせ II**  
富士山撮影会の勉強会開催についてご案内  
2月初旬に実施しました協会主催・富士山撮影会の勉強会を左記の日程・場所にて開催致します。撮影会不参加の会員も自由にご参加が可能です。是非お出掛け下さい。  
日時：3月6日(火) 13時30分〜16時30分  
場所：戦災復興記念館 4階研修室

### 編集後記

一年前、事業計画などが盛り込まれた会報15号を発行した。その後大震災に見舞われ、今日どう生きるかという緊迫した事態にしばらくは写真に思いが及ぶ状況ではなかった。